



News Release
報道関係各位

2021年4月20日
株式会社ウフル

ウフル、スタジアム・アリーナ向けソリューション「売り子ール」 がCatering & Delivery Service Associationが支援するJリーグ のスタジアムグルメに導入決定

株式会社ウフル（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：園田 崇史 以下、ウフル）は、スポーツ×IoT 事業で開発したスタジアム・アリーナ向けソリューション「売り子ール」が、Catering&Delivery Service Association 合同会社（本社：神奈川県横浜市、CEO：須谷 真央 以下、CDA）がオフィシャルスポンサーである横浜 F・マリノスの Jリーグ公式戦にて導入・実施されることとなりましたのでお知らせします。



CDA は横浜 F・マリノスのホームゲームでのキッチンカーの選定から運営管理を行い、Jリーグ最大級のスタジアムグルメ展開を支援しています。今回、スタジアムグルメ提供における顧客の利便性向上、試合直前の混雑の回避のため、ウフルの売り子ールを事前予約システムとして導入いただくこととなりました。2021 シーズン通期でのサービス提供を予定しております。

■実施概要

<初回導入日程>

2021年4月24日(土) 14:00 キックオフ
横浜 F・マリノス 対 横浜 FC

<企 画>

キッチンカーをご利用されるお客様のスマートフォンなどからメニューの事前予約・受取時間の指定、事前決済が可能です。前日までに予約をしていただき、当日は指定した時間に店舗に



立ち寄り、商品を受け取る形式の販売となります。対面でのオーダーや現金の受け渡しの必要がないため、店舗に並んで待つ時間が短縮されます。

導入対象試合などは随時公開となりますので、詳しくは[横浜F・マリノスの公式サイト](https://www.f-marinos.com/)をご確認ください。

※荒天やシステム障害が発生した際、中止となる可能性があります。

横浜F・マリノスからの案内はこちらをご覧ください

<https://www.f-marinos.com/news/event/3183>

■売り子ールについて (<https://uri-call.uhuru.co.jp/>)

売り子ールはスタジアム・アリーナでのスポーツ観戦時、スマートフォンから好きな商品を注文し、座席までデリバリーをしてもらったり、店頭で商品を受け取ったりすることができるモバイルオーダーシステムです。メニューにはビールをはじめとした飲み物だけでなく、食べ物やグッズをラインナップすることが可能です。アプリダウンロード、会員登録、座席番号入力が必要というユーザビリティを最大限考慮した仕様となっており、誰にでも簡単に注文をもらえるため、売上およびホスピタリティの向上が狙えます。



■株式会社ウフルについて (<https://uhuru.co.jp/>)

ウフルは「テクノロジーと自由な発想で、持続可能な社会を創る」を理念として、企業や社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）とデータ活用を支援・推進しています。クラウドサービスの導入と運用をはじめ、コンサルティングやシステム開発等を自社製品やソリューションとともに、エッジからクラウドまでワンストップで提供しています。また、企業活動の枠を超えて、地域や産業のDXを実現するために、スマートシティやスマートサプライチェーンに必要なとされる、信頼できるデータ流通のための仕組みの導入と標準化に向けた提言を行いながら、IoT×ブロックチェーン領域における研究開発にも取り組んでいます。